

2018年3月  
中旬発売

下野新聞新書11

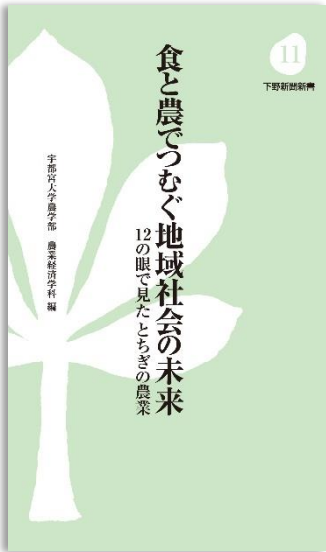
# 「食と農でつむぐ地域社会の未来」

## 12の眼で見たとちぎの農業

宇都宮大学農学部農業経済学科 編  
発行元：下野新聞社(しもつけしんぶんしゃ)  
定価：本体1,000円+税

栃木県唯一の国立大学、宇都宮大学農学部農業経済学科に所属する教員が中心となって栃木県農業の今と未来を見通す12章。

現在の日本各地の農業が抱える課題、食料、環境、後継者問題、地域おこしや6次産業などを解決する複眼的なヒントが満載！



体裁：新書判、モノクロ  
カバー装、280頁  
978-4-88286-691-6  
C0260 Y1000E

### もくじ

- 第1章 農政改革の動向と栃木県農政・農業
- 第2章 栃木県農業生産の現状と展望
- 第3章 栃木県における水田農業の現状と展望
- 第4章 栃木県園芸の方向性と課題－10年間の統計分析を基に－
- 第5章 畜産の基盤強化と地域対応
- 第6章 栃木県における地産地消・6次産業化の課題と展望  
－1970年代の農産物自給運動と1990年代の女性起業を素材として－
- 第7章 付加価値型農業戦略と6次産業化・農商工連携の課題
- 第8章 農産物輸出の現状と輸出戦略
- 第9章 木質バイオマス発電の地域経済に対する効果
- 第10章 1ターンの活躍を支える限界集落のもつ「明るさ」  
－栃木県佐野市秋山地区を事例として－
- 第11章 温故知新・栃木の伝統的特産物を活用した農の再生  
－「栃木三鷹」種の復活でとうがらしの郷づくりに挑む大田原－
- 第12章 栃木県農業振興の課題と展望

書店名	番線印	下野新聞新書11 「食と農でつむぐ地域社会の未来」 12の眼で見たとちぎの農業 宇都宮大学農学部農業経済学科 編 978-4-88286-691-6 C0260 Y1000E	日付	注文数	冊
		■定価：本体1000円+税 ■体裁：新書判 ■280頁 ■並製本	担当者		
	発行：下野新聞社(担当：嶋田)〒320-8686 宇都宮市昭和1-8-11 電話028-625-1135 FAX028-625-9619				